



2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月12日

上場会社名 株式会社 創健社

上場取引所 東

コード番号 7413 URL <http://www.sokensha.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 靖

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 飯田雅之

TEL 045-491-1441

四半期報告書提出予定日 2021年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	2,195	3.6	9		7		4	59.4
2021年3月期第2四半期	2,276	6.4	17		18		10	

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 3百万円 (76.8%) 2021年3月期第2四半期 16百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	6.15	
2021年3月期第2四半期	15.14	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	2,694	1,051	39.0	1,502.46
2021年3月期	2,875	1,058	36.8	1,512.01

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 1,051百万円 2021年3月期 1,058百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		15.00	15.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,787	1.9	20	58.8	22	56.2	9	81.3	12.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	705,500 株	2021年3月期	705,500 株
期末自己株式数	2022年3月期2Q	5,745 株	2021年3月期	5,745 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	699,755 株	2021年3月期2Q	699,785 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	11
(その他注記事項)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2021年4月1日～9月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」という。）の世界的な長期化の影響が大きく、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が断続的に繰り返されるなど、景気の先行きを大きく不透明にしております。

当社グループを取り巻く食品業界におきましては、コロナによる緊急事態宣言の下、在宅勤務の増加や消費者の不要不急の外出自粛が引き続き継続する中、多くの外食産業がテイクアウトを開始したことにより消費者の選択肢が広がりました。その結果、当社グループにおいては前年並みの効果を上げることは出来ませんでした。昨年より専属担当者を設置しておりますOEM事業は徐々に市場に商品を投入し始めております。一方、商談自粛による営業活動の縮小、集客催事の中止や規模縮小が重なり、対面販売をする高額商品は苦戦することとなりました。

このような経営環境の下、化学調味料を使わない無添加自然食品専業企業として50年の年月を積み重ねてきた歴史に信頼をいただいている当社グループは、第5次中期経営計画『新世代に向けた食の提案』（2020年4月1日～2023年3月31日まで）を作成しました。その2年目となります当連結会計年度におきましては、オーガニック&プラントベースの分野でカテゴリーNO.1企業を目指し、コロナ後の食品市場における新しい営業活動（コロナ前とは明らかに違う営業活動）を想定し、当社グループブランド商品のファン作りに注力するとともに、目標の営業利益額を達成するために役員・社員一丸となって取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの商品品目別売上高の主な増減につきましては、「嗜好品・飲料」が、ドライフルーツ等の売上減があったものの、メイシーシリーズ（菓子）4連タイプ等の売上増により前年同四半期比55百万円増（15.5%増）の4億13百万円、「調味料」が、液体だし等の売上減があったものの、マヨネーズ等の売上増により前年同四半期比8百万円増（1.2%増）の7億39百万円となりました。しかしながら、「油脂・乳製品」が、カメリナオイル等の売上増があったものの、えごま油等の売上減により前年同四半期比51百万円減（16.8%減）の2億53百万円、「その他」が、歯磨き粉等の売上増があったものの、ウイルス対策品等の売上減により前年同四半期比32百万円減（37.1%減）の54百万円、「副食品」が、サンラータンメン等の売上増があったものの、パンケーキ粉等の売上減により前年同四半期比30百万円減（5.4%減）の5億27百万円、「乾物・雑穀」が、国産ひじき等の売上増があったものの、国内産小麦粉等の売上減により前年同四半期比23百万円減（14.5%減）の1億36百万円、「栄養補助食品」が、新商品のビタミンC等の売上増があったものの、ミドリムシ等の売上減により前年同四半期比8百万円減（10.4%減）の70百万円となりました。

この結果、全体の売上高は、21億95百万円（前年同四半期比80百万円減、3.6%減）となり、売上総利益率25.0%と前年同四半期比0.3ポイント減となりました。販売費及び一般管理費は5億59百万円（前年同四半期比1百万円増、0.2%増）となり、営業損益につきましては、営業損失9百万円（前年同四半期は、営業利益17百万円）となり、経常損益につきましては、経常損失7百万円（前年同四半期は、経常利益18百万円）という結果にて終了しました。また当第2四半期連結累計期間におきまして、投資有価証券売却益が13百万円発生いたしましたので、特別利益に計上しております。その結果親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益4百万円（前年同四半期比6百万円減、59.4%減）となりました。

品目別販売及び仕入実績の状況

当社グループの事業は単一グループであり、当第2四半期連結累計期間の販売及び仕入実績をセグメントごと及び事業部門ごとに示すことができないため、品目別に示すと、次のとおりであります。

① 販売実績

品目別	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)			主要商品
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	前年同四半期比	
油脂・乳製品	304,644	13.4	253,410	11.6	16.8%減	マーガリン・ペに花油・えごま油・オリーブ油・ココナッツオイル・菜種油・原材料用サラダ油・ごま油、カメリナオイル
調味料	731,247	32.1	739,959	33.7	1.2%増	醤油・味噌・砂糖・塩・酢・カレー・シチュー・マヨネーズ・ドレッシング・液体だし・顆粒だし・醗酵調味料・蜂蜜
嗜好品・飲料	357,920	15.7	413,413	18.8	15.5%増	菓子・野菜果汁飲料・お茶・ドライフルーツ・五穀茶・発酵飲料・ナッツ類・メイシーシリーズ(菓子)・豆乳・はちみつ製品
乾物・雑穀	159,331	7.0	136,157	6.2	14.5%減	小麦粉・パン粉・米・黒米・雑穀・鰹節・昆布・ひじき・蓮根粉・ハトムギ粒・餅きび・押麦・キヌア・切干大根・チアシード・炒り胡麻・もち麦・味付のり・干し桜えび・タピオカ粉末・おから
副食品	557,608	24.5	527,362	24.0	5.4%減	ジャム・スープ・レトルト食品・麺類・缶詰・熟成発酵黒にんにく・パンケーキ粉・らっきょう甘酢漬・シリアル食品・みそ汁・お節お重商品・炊き込みごはんの素・五目ちらし寿司の素・かき揚げ(冷凍)・コンビーフ・ピーナッツスプレッド・蒲鉾
栄養補助食品	78,887	3.5	70,660	3.2	10.4%減	青汁・キダチアロエ・梅エキス・ミドリムシ・ハトムギ酵素・乳酸菌・天茶エキス・コラーゲン・碇石茶・生姜粉末・板藍根・ルイボス茶・ルテイン・モリンガ(ハーブ系青汁)・くま笹エキス・ビタミンC
その他	86,819	3.8	54,602	2.5	37.1%減	トイレットリー・機械器具・化粧品・虫よけスプレー・歯磨き粉・ウイルス対策品など
合計	2,276,458	100.0	2,195,567	100.0	3.6%減	—

② 仕入実績

品目別	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	前年同四半期比
油脂・乳製品	225,345	13.2	192,853	11.8	14.4%減
調味料	559,227	32.7	553,263	33.9	1.1%減
嗜好品・飲料	276,718	16.2	330,793	20.2	19.5%増
乾物・雑穀	131,137	7.7	112,774	6.9	14.0%減
副食品	387,420	22.7	346,192	21.2	10.6%減
栄養補助食品	51,996	3.0	46,737	2.9	10.1%減
その他	77,415	4.5	51,228	3.1	33.8%減
合計	1,709,261	100.0	1,633,844	100.0	4.4%減

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1億66百万円の減少となりました。この主な要因は、「現金及び預金」の1億55百万円減少などによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて14百万円の減少となりました。この主な要因は、「保険積立金」の4百万円増加などがあつたものの、「投資有価証券」の20百万円減少などによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1億80百万円減少し、26億94百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて86百万円の減少となりました。この主な要因は、「短期借入金」の40百万円減少及び「支払手形及び買掛金」の17百万円減少などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて87百万円の減少となりました。この主な要因は、「長期借入金」の93百万円減少などによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1億74百万円減少し、16億43百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて6百万円の減少となりました。この主な要因は、「利益剰余金」の6百万円減少（親会社株主に帰属する四半期純利益4百万円の計上、配当総額10百万円）によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、投資活動の結果18百万円を得て、営業活動の結果24百万円及び財務活動の結果1億49百万円を使用し、当第2四半期連結会計期間末には10億26百万円（前年同四半期比1億87百万円減）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動に係るキャッシュ・フローは、売上債権の減少額31百万円などにより一部相殺されたものの、仕入債務の減少額18百万円、未払金の減少額13百万円、法人税等の支払額12百万円及び未収入金の増加額10百万円などにより、営業活動の結果使用した資金は24百万円（前年同四半期は81百万円の獲得）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に係るキャッシュ・フローは、保険積立金の積立による支出8百万円などにより一部相殺されたものの、投資有価証券の売却による収入33百万円などにより、投資活動の結果獲得した資金は18百万円（前年同四半期は18百万円の使用）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に係るキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出1億14百万円、短期借入金の純減額20百万円及び配当金の支払額10百万円などにより、財務活動の結果使用した資金は1億49百万円（前年同四半期は1億38百万円の獲得）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、前回予想（2021年5月14日に発表いたしました連結業績予想）から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,415,737	1,260,282
受取手形及び売掛金	649,301	618,041
商品及び製品	241,008	239,847
仕掛品	—	15
原材料及び貯蔵品	22,770	25,335
その他	16,943	35,776
貸倒引当金	△135	△129
流動資産合計	2,345,626	2,179,169
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	307,094	307,814
減価償却累計額	△255,011	△257,463
建物及び構築物（純額）	52,083	50,350
土地	88,371	88,371
リース資産	47,658	46,643
減価償却累計額	△25,416	△27,012
リース資産（純額）	22,241	19,631
建設仮勘定	502	434
その他	195,166	199,320
減価償却累計額	△173,551	△173,636
その他（純額）	21,615	25,684
有形固定資産合計	184,814	184,472
無形固定資産		
その他	11,608	13,201
無形固定資産合計	11,608	13,201
投資その他の資産		
投資有価証券	80,096	59,340
保険積立金	210,025	214,891
繰延税金資産	12,764	12,974
その他	31,664	31,633
貸倒引当金	△742	△724
投資その他の資産合計	333,807	318,114
固定資産合計	530,231	515,788
資産合計	2,875,857	2,694,957

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	426,313	408,833
短期借入金	516,440	476,196
リース債務	7,202	6,159
未払法人税等	18,120	6,226
賞与引当金	18,690	18,331
その他	100,160	84,276
流動負債合計	1,086,926	1,000,022
固定負債		
長期借入金	374,700	280,860
リース債務	14,404	12,411
役員退職慰労引当金	117,000	122,500
退職給付に係る負債	190,917	192,952
その他	33,875	34,853
固定負債合計	730,896	643,577
負債合計	1,817,823	1,643,600
純資産の部		
株主資本		
資本金	920,465	920,465
資本剰余金	45,965	45,965
利益剰余金	96,909	90,715
自己株式	△11,154	△11,154
株主資本合計	1,052,185	1,045,991
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,848	5,365
その他の包括利益累計額合計	5,848	5,365
純資産合計	1,058,033	1,051,356
負債純資産合計	2,875,857	2,694,957

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	2,276,458	2,195,567
売上原価	1,700,717	1,645,583
売上総利益	575,740	549,983
販売費及び一般管理費	※ 558,180	※ 559,473
営業利益又は営業損失(△)	17,560	△9,489
営業外収益		
受取利息	49	33
受取配当金	856	963
仕入割引	1,666	1,551
貸倒引当金戻入額	363	23
破損商品等賠償金	187	208
その他	1,013	1,128
営業外収益合計	4,136	3,908
営業外費用		
支払利息	3,054	2,223
営業外費用合計	3,054	2,223
経常利益又は経常損失(△)	18,641	△7,805
特別利益		
固定資産売却益	—	71
投資有価証券売却益	—	13,537
特別利益合計	—	13,609
特別損失		
固定資産除却損	303	0
保険解約損	126	232
店舗閉鎖損失	—	165
特別損失合計	429	398
税金等調整前四半期純利益	18,212	5,406
法人税、住民税及び事業税	7,617	1,103
法人税等合計	7,617	1,103
四半期純利益	10,595	4,302
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,595	4,302

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	10,595	4,302
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,868	△483
その他の包括利益合計	5,868	△483
四半期包括利益	16,463	3,819
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,463	3,819
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	18,212	5,406
減価償却費	15,269	12,196
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,600	5,500
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6,266	2,034
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,147	△359
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,277	△23
受取利息及び受取配当金	△905	△996
仕入割引	△1,666	△1,551
支払利息	3,054	2,223
固定資産除却損	303	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△13,537
保険解約損益 (△は益)	126	232
固定資産売却損益 (△は益)	—	△71
売上債権の増減額 (△は増加)	89,411	31,750
未収入金の増減額 (△は増加)	213	△10,075
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△21,944	△1,420
仕入債務の増減額 (△は減少)	△47,428	△18,668
未払金の増減額 (△は減少)	△1,080	△13,868
未払消費税等の増減額 (△は減少)	6,447	△6,638
その他	4,220	△2,921
小計	81,969	△10,789
利息及び配当金の受取額	770	980
利息の支払額	△2,915	△2,014
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	1,467	△12,725
営業活動によるキャッシュ・フロー	81,291	△24,547
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△233,900	△233,900
定期預金の払戻による収入	233,900	233,900
投資有価証券の売却による収入	—	33,600
有形固定資産の取得による支出	△7,335	△7,403
有形固定資産の売却による収入	—	71
無形固定資産の取得による支出	△4,839	△2,433
貸付けによる支出	—	△480
貸付金の回収による収入	199	185
保険積立金の積立による支出	△8,615	△8,465
保険積立金の解約による収入	1,553	3,367
その他	205	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,831	18,444
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△20,000
長期借入れによる収入	250,000	—
長期借入金の返済による支出	△106,882	△114,084
リース債務の返済による支出	△4,791	△4,870
配当金の支払額	△0	△10,398
財務活動によるキャッシュ・フロー	138,325	△149,352
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	200,785	△155,455
現金及び現金同等物の期首残高	1,013,388	1,182,137
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 1,214,174	※ 1,026,682

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用による変更点は以下の通りです。

有償支給取引については、従来、支給品の譲渡に係る収益を認識しておりましたが、当該収益は認識しない方法に変更しました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は14,340千円減少し、売上原価は14,340千円減少しましたが、営業損失、経常損失、税金等調整前四半期純利益に変更ありません。また、利益剰余金の当期期首残高への影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の「重要な会計上の見積り」に記載した新型コロナウイルス感染症に関する仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

当社グループは、健康自然食品の卸売業として単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

当社グループは、健康自然食品の卸売業として単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

（その他注記事項）

（四半期連結損益計算書関係）

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
荷造運送・保管費	166,456千円	161,270千円
給料手当及び賞与	131,265	136,319
研究開発費	20,406	17,698
退職給付費用	9,710	8,628
役員退職慰労引当金繰入額	4,600	5,500
賞与引当金繰入額	17,837	17,931

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書）

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
現金及び預金勘定	1,447,774千円	1,260,282千円
預入期間が3か月を超える定期預金	△233,600	△233,600
現金及び現金同等物	1,214,174	1,026,682